

4年	科目	文学特論	講義	通年	担当	小村宏史・中園孝信 OMURA Hiroshi NAKAZONO Takanobu
全学科共通		Literature	必修	2履修単位		
授業の概要						
「現代文学名作選」を扱う授業では文学教材を積極的に活用して文学作品に触れ精神の成長、情操の育成を図り、技術者の社会的役割と責任を自覚する態度を学ぶ。「大学生のための日本語表現実践ノート」を扱う授業では読む力・考える力を中心に全般的な日本語の力を高め、豊かな国際感覚とコミュニケーション能力を身につける。						
本校学習・教育目標(本科のみ)		目標	説明			
		1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度			
		2	自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力			
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力			
	○	4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力			
		5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢			
プログラム学習・教育目標 (プログラム対象科目のみ)						
実践指針 (専攻科のみ)						
授業目標						
1 文学作品を読み通すことで読書の方法を習得し、読書力をつける。 2 日本語表現に関する基礎的な事柄を身につけ、日本語表現能力をつける。 3 ワードプロソフトでの文書作成で適切な漢字選択ができる語彙を操る能力をつける。 4「話すこと」は他者とのコミュニケーションの方法であることを学び、耳で聞き取ったことをわかりやすく話す能力をつける。 5 実験や調査等で得たデータを根拠にして自分の意見を述べるとき、相手にわかりやすい表現力をつける。						
授業計画						
第1回	オリエンテーション	教育目標、授業概要、目標、スケジュール、シラバス、評価方法と基準等の説明。導入				
第2回		「大学生のための日本語表現実践ノート」第1課ことばと表現を知ろう				
第3回		「最後の一句」森 鷗外				
第4回		「大学生のための日本語表現実践ノート」第1課ことばと表現を知ろう				
第5回		「鼻」芥川龍之介				
第6回		「大学生のための日本語表現実践ノート」第1課ことばと表現を知ろう				
第7回		「清兵衛と瓢箪」志賀直哉				
第8回	前期中間試験					
第9回		「よだかの星」宮沢賢治				
第10回		「大学生のための日本語表現実践ノート」第1課ことばと表現を知ろう				
第11回		「山椒魚」井伏鱒二				
第12回		「大学生のための日本語表現実践ノート」第1課ことばと表現を知ろう				
第13回		「セメント樽の中の手紙」葉山嘉樹				
第14回		「大学生のための日本語表現実践ノート」第2課話してみよう				
	前期末試験					
第15回		「路傍の石」山本有三				
第16回		「大学生のための日本語表現実践ノート」第3課敬語・敬意表現を使おう				
第17回		授業概要、スケジュール、シラバス等の説明。「黄金風景」太宰 治				
第18回		「名人伝」中島 敦				
第19回		「大学生のための日本語表現実践ノート」第4課書いてみよう				
第20回		「潮騒」三島由紀夫				
第21回		「大学生のための日本語表現実践ノート」第4課書いてみよう				
第22回	後期期末試験					
第23回		「おきみやげ」幸田 文				
第24回		「大学生のための日本語表現実践ノート」第5課分析と考察をしよう				
第25回		「童謡」吉行淳之介				
第26回		「大学生のための日本語表現実践ノート」第6課就職活動の準備をしよう				
第27回		「途中下車」宮本 輝				
第28回		「沈黙」村上春樹				
第29回		「電話アーティストの甥／電話アーティストの恋人」小川洋子				
	学年末試験					
第30回		試験解説、授業アンケート				
評価方法と基準	定期試験の平均成績を80% 課題提出を20%として評価する。					
教科書等	『現代文学名作選』(明治書院)、『大学生のため日本語の表現実践ノート』(風間書房)					
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。					